

(補遺6)

## がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査

調査票をお渡しする際にご覧いただいた「調査の趣旨について」を再度ご確認のうえ、ご回答ください。

この調査結果を、今後のがん医療の充実のため活かしてまいりたいと存じますので何卒ご協力をお願いいたします。

平成 15 年 月

各医療機関代表者 氏 名

厚生労働科学研究費及びがん研究助成金による、がん生存者に関する合同調査研究班

主任研究者 山口 建 (静岡県立静岡がんセンター総長)

((お願い))

1. この調査票は、**体験者ご本人**がご回答ください。
2. 黒または青のボールペンを使い、**はっきりと**ご記入をお願いします。
3. この調査票には、回答者のお名前や個人を識別する情報は含まれておりませんので、**遠慮のない率直なご意見をお寄せください**。
4. 答えにくい質問や不快感を与えてしまう質問があるかもしれません。そのように感じられた場合は、**無理にお答えいただかなくて構いません。答えられるところだけ答えてください**。

ご記入後は、ご面倒ですがお渡ししました封筒に入れ、 月 日 ( ) までにポストへ投函してください。

(お問い合わせ先)

各医療機関名 (分担研究者氏名)

電話番号 \* \* \* \* \*

E-mail \* \* \* \* \*

I 治療歴等についてお伺いします。

問1 がんと診断されたのはいつですか。

昭和・平成		年		月	あるいは 満		歳	のとき
-------	--	---	--	---	--------	--	---	-----

問2 その時、何のがんと診断されましたか。当てはまるものを 1つ 選んで○をつけてください。

- |            |           |           |                        |
|------------|-----------|-----------|------------------------|
| 1. 脳       | 8. 肝臓     | 15. 子宮    | 22. 骨髄腫                |
| 2. 咽頭・喉頭   | 9. 胆道・胆のう | 16. 卵巣・卵管 | 23. 骨                  |
| 3. 肺       | 10. すい臓   | 17. 乳房    | 24. 軟部組織系(筋肉・脂肪)       |
| 4. 食道      | 11. 腎臓・副腎 | 18. 前立腺   | 25. その他 (            ) |
| 5. 胃       | 12. 膀胱    | 19. 精巣    |                        |
| 6. 十二指腸・小腸 | 13. 皮膚    | 20. 甲状腺   |                        |
| 7. 大腸・直腸   | 14. 口腔・舌  | 21. 白血病   |                        |

問3 その後、現在までに担当医に再発（転移）が認められると言われましたか。

1. はい	2. いいえ	→ 問4へ
-------	--------	-------

↓

付問 3-1 再発（転移）が認められた部位等のすべてに○をつけてください。

- |            |           |           |                        |
|------------|-----------|-----------|------------------------|
| 1. 脳・髄膜    | 8. 肝臓     | 15. 子宮    | 22. リンパ節（腺）            |
| 2. 咽頭・喉頭   | 9. 胆道・胆のう | 16. 卵巣・卵管 | 23. 骨                  |
| 3. 肺・胸膜    | 10. すい臓   | 17. 乳房    | 24. 軟部組織系(筋肉・脂肪)       |
| 4. 食道      | 11. 腎臓・副腎 | 18. 前立腺   | 25. 脊髄                 |
| 5. 胃       | 12. 膀胱    | 19. 精巣    | 26. 腹膜                 |
| 6. 十二指腸・小腸 | 13. 皮膚    | 20. 甲状腺   | 27. 心膜・心のう             |
| 7. 大腸・直腸   | 14. 口腔・舌  | 21. 骨髄    | 28. その他 (            ) |

問4 現在の治療の状況について、当てはまるものを 1つ選んで○をつけてください。

1. がんに対する治療を継続中
2. がんに対する治療は終了し、定期的な検査通院中
3. その他 ( )

問5 現在までに、医療機関で受けた治療について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 外科手術
2. 内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術
3. 薬物療法（抗がん剤・ホルモン剤等）
4. 放射線治療
5. その他 ( )

問6 現在の、あなたの日常生活の状況にもっとも近いものに 1つ○をつけてください。

1. 特に症状はなく社会活動ができ、病気や治療による制限を受けることなく、がんにかかる前と同じように行動できる
2. 軽い症状があり、からだを使う仕事（肉体労働）は制限されるが、歩くことや軽作業・坐業（家事・事務など）は行える
3. 歩くことや身の回りのことはできるが、時々少し人の助けがいることもある。軽作業はできないが、日中の半分以上は起きている
4. 身の回りのある程度のことはできるが、しばしば人の助けが必要で、日中の半分以上は横になっている
5. 身の回りのこともできず、常に人の助けが必要で、一日中横になっている

Ⅱ がんの診断や治療を受けて悩んだこと、また、その悩みへの対応などについてお伺いします。

問7 どのようなことについて悩みましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 痛み・副作用、後遺症などの身体の苦痛</li><li>2. 落ち込みや不安や恐怖などの精神的なこと</li><li>3. 夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家族のこと</li><li>4. 仕事、地位、人間関係などの社会とのかかわり</li><li>5. 医師や看護師等とのかかわり</li><li>6. 収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと</li><li>7. これからの生き方、生きる意味などに関すること</li><li>8. その他 ( )</li></ol> |
|---|

付問 7-1 「a がんと診断された頃」に悩んだことを具体的にお教えてください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------

付問 7-2 「b 診断から現在に至るまでの間」で、悩んだことをその悩みの原因とともに具体的にお教えてください

( ) の頃)
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

付問 7-3 「c 現在」、悩んでいることを具体的にお教えてください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------

問8 問7のそれぞれの時点における悩みへの対応として、誰かに相談しようと考えられましたか。時点ごとに、どちらか当てはまる番号に○をつけてください。  
(すべて1に○をつけた方は問10へ進んでください。)

	a. がんと診断された頃	b. 診断から現在に至るまでの間	c. 現在 (平成15年 月)
誰にも相談したくなかった	1	1	1
相談しようとした、もしくは相談した。	2	2	2

問9 問8で「2 相談しようとした、もしくは相談した」にひとつでも○をつけた方は、下に示す状況に当てはまるその相手の方やその機関を下表よりすべて選び、それぞれその番号や記号を記入してください (複数可)。

1. 家族	6. 患者会・自助グループ	a. 病院の相談室など
2. 友人・知人	7. 担当医	b. 県や市町村の相談窓口
3. 親戚の人	8. 看護師(看護婦)	c. その他の機関
4. 上司・同僚	9. その他の人	
5. 入院中に知り合った同病者		

	a. がんと診断された頃	b. 診断から現在に至るまでの間	c. 現在 (平成15年 月)
相談して、悩みが軽減した			
相談したが、悩みが軽減しなかった			
相談しようとしたが、相談にのってくれなかった			
相談をためらい、結局、相談できなかった			
相談しようとしたが、その相手を見つけられなかった			

[すべての方におうかがいします]

問10 あなたがかつて抱えた悩み、また現在抱えている悩みを少しでも和らげるために、何が重要だと思いますか。ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------





問15 過去一年間のお宅の収入は税込みでどれくらいでしょうか。(年金や家族などからの仕送りなども含めてください)。

1. 120万円未満	6. 600～800万円未満
2. 120～300万円未満	7. 800～1,000万円未満
3. 300～400万円未満	8. 1,000～2,000万円未満
4. 400～500万円未満	9. 2,000万円以上
5. 500～600万円未満	

問16 あなたが、昨年1年間(平成14年1月1日～12月31日)に、がん治療やその後遺症の軽減のために支払った金額はおよそどれくらいでしょうか。それぞれにお答えください。

A. 医療機関への支払い総額	<input type="text"/>	万円
<hr/>		
(1) 高額療養費の還付金額	<input type="text"/>	万円
(2) 保険会社からの医療保険金・入院給付金などの額	<input type="text"/>	万円
(3) その他医療費の補てんを目的とした給付金の額 (例: 任意の互助組織からの給付金)	<input type="text"/>	万円
<hr/>		
B. 小計 ((1)+(2)+(3))	<input type="text"/>	万円 (計算はなさらなくても結構です)
<hr/>		
C. 医療機関への実支払額 (A - B)	<input type="text"/>	万円 (計算はなさらなくても結構です)
<hr/>		
D. <u>医療機関以外</u> へ治療や後遺症の軽減のために支払った金額	<input type="text"/>	万円
<hr/>		
E. 総額 (C+D)	<input type="text"/>	万円 (計算はなさらなくても結構です)

最後までご協力いただき、どうもありがとうございました。

お寄せいただいた貴重なご意見を、今後のがん医療に役立たせていただきます。